



発行人
西原町役場
〒903-01
西原町字嘉手苅112番地
電話(09894)-5-4533
印刷
光文堂印刷

町の世帯・人口		世帯数	人口
(昭和59年6月末現在)		5,776	20,299
世帯別人口	男	10,432	
	女	9,867	
6月の人口移動		出生	死亡
転入	29人	139人	5人
	転出	11件	97人
婚姻			離婚 2件

9月16日に町長選

西原町選挙管理委員会(玉那覇三郎委員長)は昭和五十九年十月五日任期満了にともなう西原町長選挙を次の通り執行することを決定しました。

一 投票日
昭和五十九年九月十六日
午前七時から午後六時迄

二 開票日(即日開票)
投票当日午後七時より
西原町中央公民館にて

三 告示日
昭和五十九年九月十一日

四 基準日及び登録日
昭和五十九年九月十日

五 縦覧期間
九月十一日から九月十二日まで、但し、午前八時三〇分から午後五時までに限る。

◎投票所について

第一投票所
西原町中央公民館ホール

第二投票所(今回は特に変更)
坂田小なかよし学級教室

第三投票所
西原東小体育館

◎不在者投票について
仕事、旅行、出産その他の都合で投票当日に投票所へ行けない方は不在者投票ができます。

期間は九月十一日から九月十五日まで午前八時三〇分から午後五時までに受け付けます。

なお、旅行先や指定病院でも郵便による不在者投票ができますので早目に選管に問い合わせて下さい。

◎代理投票について
在宅投票以外であれば文盲者、障害者は不在者投票管理者に申し出て代理記載人を選定してもらい投票することが出来ます。

その他詳しいことは選管までお問い合わせ下さい。

◎選挙人名簿について
町選挙管理委員会は昭和五十九年九月三十日任期満了にともなう西原町農業委員会選挙を次の通り執行することを決定しました。

一 投票日
昭和五十九年九月九日
午前九時から午後四時迄

二 開票日(即日開票)
投票当日午後七時より
西原町中央公民館にて

三 告示日
昭和五十九年九月四日

四 投票所
西原町中央公民館ホールのみを用いる。

五 選挙による委員定数
十六名

◎不在者投票について
九月四日から九月八日まで、午前八時三〇分から午後五時まで、不在者投票をすることが出来ます。

◎その他
不在者投票の理由、在宅投票、代理投票については他の選挙と変わりないので、選管に問い合わせて下さい。

電話五〇一五

緑豊かな郷土づくりを

大がかりな町植樹祭 三百本の木を植える

給食センターの塔
西原

緑豊かな郷土づくりを目指して「公共施設に緑と花を」と町・町緑化支部主催の第六回町植樹祭が、六月三十日午前十時から今月四月にオープンしたばかりの学校給食センターと西原の塔で町役職員はじめ各種団体などの関係者約百六十名の協力を得て大がかりに行われた。

植樹に先立ち、式典が給食センター広場で開かれ、その中で宮平町長は「緑は大切なものであり人間が生活を営む上でなくてはならないものがあります。本町は、今大戦で緑を失い、沖縄県の緑化に対する運動の取り組みが遅かったが、早く、戦前の緑を取り戻さなくてはならない。東南アジアのシンガポール、マレーシアでは環境緑化が非常に進んでいる。東南アジアに負けない位の西原にしたい。なくてはならないと思います。町民の皆様が一人でも多く木を植えてもらうようにしていけば、緑豊かな町づくりも推進されるものと期待し、ご協力をお願いします」と述べた。

次いで給食センターで宮平町長、親泊議長、仲宗根町教育委員長による琉球こくたんの記念植樹が行われた。

その後、参加者全員は、給食センターと西原の塔の二手に分かれ、炎天下の中、一斉に植樹を行い、額に汗しながら頑張った。その日、琉球こくたん、イヌマキ、カイズカイブキ、クロトン、



公共施設に緑と花を」と植樹

ケラマツツジ ハイビスカス、ホルト、ソーシジュ、ホンコンカボックなど合わせて三百本が植えられた。午前中に作業を終えたが、終わりに頃は、全員とも汗びっしょりであった。

道路改良工事着工

町道安室(池田線)

運玉

字桃原の運玉原にある町道安室(池田線)の道路改良工事の起工式が、七月九日午前十一時、沖縄カントリークラブの駐車場近くの敷地で関係者約二十人の参加の下に行われた。くわ入れ式は、宮平町長、森田孟睦氏(建設代表者)、古謝勝吉氏(新沖縄観光開発(株)取締役社長)の三名によってなされ、工事の安全を祈願した。

起工式の後、同社の会議室で懇親会が開かれたが、席上あいさつに立った宮平町長は「この町道安室(池田線)は、西原から首里や南部に通じる

要所としてまた、池田地区の児童の通学路として広く町民に使われており、数ある町道の中でもその整備は急務であったが、このたび、新沖縄観光開発社さんの御厚意と御協力によってめでたく道路改良工事ができましたことを喜んでおります。用地提供及びに寄付に対して深く感謝申し上げます」と述べた。

今回の改良工事は、事務所前から散水用のため池付近までの間で延長三二〇メートル、幅員は十メートルに拡張される。工事費は、三八五〇万円である。

郵便局から福祉年金等の受給者の皆様へ

来たる八月十一日は、第二土曜開庁日に当たるため、八月十一日を支払い開始日とする左記年金の支払開始日は八月十三日(月)となりますのでお知らせします。

詳しいことは、郵便局にお尋ねください。

記

対象となる年金

- 福祉年金、児童扶養手当及び特別児童扶養手当
- 現金払に係る厚生年金及び船員保険年金

統計調査常任調査員募集中!

町企画課(電話5-5661・5-4533)

環境美化に二役を

道路排水愛護デー

自然と住みよい生活環境を守ろうと一町主催の第三回道路排水愛護デーが、六月二十日と二十四日に行われた。二十日は、小那覇の産業道路、小波津川、養豚団地前海岸、

徳佐田川、幸地川などの周辺五ヶ所で事業所、各種団体、町役場などから二百五十人が参加して大がかりなクリーン作戦が展開され、環境美化に大きく役立った。各班とも草刈や空ビン、空缶の

収集作業を行った。また、海浜で集められた燃えるゴミの焼却も行われた。

海浜では、空ビン、空缶、ガラス破片等々の生活廃棄物でよごれており非常に苦しい状況であり、美観上からも好しい光景ではない。安易に海浜や川にものを捨てないように一人一人が心がけたいものである。

また、二十四日は、

町内各区で多数の区民が出て行政区内の道路、排水、公園などを中心に草刈清掃、溝さ

らい、空缶、空ビンの収集が行われ部落内の美化に努め大きな成果を上げた。ある地域では側溝が土で埋まり、雨水排水の役目を果たさない状態の所を区民がショベルで掘り起こす光景も見受けられた。額いっぱい汗を出しながら部落内の生活環境の整備と美化に頑張る姿は、非常にすばらしい。

59年度補正予算を可決

道路整備を要請決議

例会
6月町議

第三回町議会定例会は、六月二十六日から二十七日までの会期で行われた。

議案では、①町道千原線の延長拡大に伴う路線の一部変更、②町道安室一池田線道路改良工事の請負契約締結（工事費三八五〇万円）、③池田地区農地保全整備事業排水路及び農道工事の請負契約締結（工事費七五八〇万円）、④昭和五十九年度町国民健康保険特別会計補正予算案（補正額二九六八万一千円、歳入歳

出五億六三三四万三千円）、⑤五十九年度町老人保健特別会計補正予算案（補正額三億四千万円、歳入歳出三億四千万円）、⑥五十九年度町一般会計補正予算案（補正額九七三万五千円、歳入歳出三七億八六七万一千円）など六件が審議され六月二十六日にすべて原案通り可決された。

決裁案件は、①道路整備に関する要請決議書（沖縄県出身の衆参議員宛）、②道

ひいては部落発展にもつながるものと期待している。これを機会に行政区内における自発的な共同作業により、美しい町づくりを進める必要があり、町民の皆さんの御協力をよろしく願います。写真は、区民が土砂で埋った道路側溝をショベルで掘り起こしさらう所（森川で）。

路整備に関する意見書（建設大臣、大蔵大臣、経済企画庁長官宛）であり、六月二十七日に原案通り可決された。

また、地方税法の一部を改正する法律が、昭和五十九年四月一日から施行されたことに伴う「町税条例の一部改正（同日施行）」と「町国民健康保険条例の一部改正（同日施行）」の専決処分の承認も行われた。

59年度

町農協総会終わる

町農業協同組合（城間光雄組合長）の昭和五十九年度通常総会が、六月二十日午後一時から中央公民館で組合員六百余人の出席の下に開かれた。八件の議案が審議されすべて承認された。写真。

59年度総会終わる

町交通安全推進協

町交通安全推進協議会（宮平吉太郎会長）の昭和五十九年度総会が、六月二十一日午



後三時から町役場会議室で関係者約五十人の出席の下に行われた。写真。総会では、昭和五十八年度事業報告並びに決算報告の承認、同監査報告、五十九年度事業計画並びに予算案が審議承認された。また、役員改選も行われ会長に宮平町長、副会長に親泊議長と平安助役が選ばれた。そのほか、幹事六十五名、監事三名、書記会計一名が決まった。

新年度は、九四万六千円の予算を計上し、夏、秋、年末年始の交通安全運動（街頭指導）を推進するほか、子供達の交通安全に対する認識を高めるため交通安全作文、標語を募集する計画であり、交通事故の未然防止に向けて同会の活動に大きな期待が寄せられている。

59年度総会終わる

町心豊かなふるさとづくり推進協

昭和五十八年度事業報告の中で共同集荷貯蔵施設の完成、信用業務のオンライン化、現金自動支払機（C、D）の設置、各事業のそれぞれの実績、さとうきび生産三万一千四百三十三トン、肉豚生産三〇六〇頭、花卉一万四六六九ケース等々の報告がなされた。また、昭和五十九年度事業計画の中で「本年度は、第三次協同活動強化運動の一環として策定した地域農業計画と農協経営刷新強化三ヶ年計画の実践の二年次としてその目標達成を期する」とし各事業で運営方針の目標を掲げ活動を展開することになっている。

また、役員改選も行われ、会長に宮平町長、副会長に親泊議長と平安助役が選ばれた。そのほか、評議員十五名、監査役二名、事務局五名などが決まった。

国民年金

未加入者は今すぐ加入手続を

国民すべてに年金をという標語のもと昭和三十六年四月（沖縄県では昭和四十五年四月）に国民年金がスタートし、これまでの厚生年金、船員保険、そして五つの共済年金とあわせて国民皆年金が実現しました。すべての国民がいずれかの年金に加入することによ

て老後は、誰でも年金が受けられるしくみになっています。日本国内に住所を有する二十歳から五十九歳までの農業、漁業、商業などの自営業を営んでいる方で厚生年金など、他の公的年金制度に加入していない方は、国民年金へ加入しなければなりません。そのよう

は受けられません。ただし、他の公的年金の加入期間があれば通算老齢年金が受けられる場合があります。今年三十五歳になる方は、今が年金を考え直す最後のチャンスです。未加入の方は、今すぐ町役場年金係まで加入の手続きを済ませるようして下さい。



自転車
の乗り方を指導

県自転車大会で二位

西原小



県自転車大会・団体2位の西原小の代表、山田裕之君、宮平和真君、宮里誠君。

夏休みを前にして児童の安全で正しい乗り方を身に付けさせようとして西原小

学校では、昨年に引き続き、与那原警察署とPTAの協力を得て、今年も七月十日午前十時四十五分、三年生から五年生までの児童を校庭に集めて「自転車の乗り方」を指導した。

校長先生のお話、警察官のお話の後、七月一日に開かれた沖縄県交通安全協会連合会主催の第八回交通安全こども自転車沖縄県大会で宮古の上野小学校に次いで二位に輝いた西原小学校の代表四名の表彰式も行われ、皆から祝福の拍手が送られた。

た学科テスト、実技テストの模範演技が、校庭内にかかれた模範コースで披露された。集まった児童は、前後・左右の確認のしかた、発進のしかた、右折のしかた、左折のしかた、横断歩道のある交差点での扱い方、押し歩きのかたなどを学び、本番さながらの演技に感激し「すごい」と連発していた。

また、五年生、六年生に対しては、各自持参の自転車で実地訓練も行われ、かなりの成果を上げて有意義な「自転車乗り方教室」となった。

なお、県大会での成果は次の通り。

▼団体
二位 西原小 三一六九点

▼個人
二位 山田裕之 一〇六五点
三位 宮平和真 一〇五七点
※二位三位は西原小

尚敬王直筆の
石碑を拓本

間殿
内御

七月十一日午前、字嘉手苅にある内間御殿で石碑の拓本（刻まれた文字等を紙に写しとること）が行われた。この「致和」の石碑は尚敬王直筆のもので、乾隆三年（一七三八年）六月に造られた。

また、これと同じ「致和」の扁額（門戸上部にかける細長い額）が戦前まで内間御殿の正門にかかげられていた。

現在、この扁額の一部は県立博物館に保存されている。

今回の拓本作業は町史の資料収集の一環として行われ、

町内を視察見学

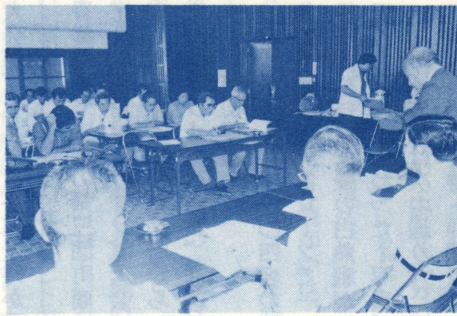
那覇在住西原郷友会
変わりつつある西原を身近に見学しふるさとの良さを見直そうと、那覇市在住西原町郷友会（大城栄徳会長）で

寄付御礼

六月八日、南風原町字新川一・二八の宮里英詳氏（前校長）より坂田小学校に「図書購入に役立てて下さい」と二十万円の寄付がありました。この紙面をかりて宮里氏の御厚意に感謝いたします。

59年度 町青少年協総会終わる

青少年の心身共に健やかな成長を図ろうと七月十一日午後三時から町役場会議室で昭和五十九年度町青少年健全育成協議会総会（写真）が開催され、関係者四十余人が出席して行われた。総会では、昭和五十九年度事業報告と同決算報告の承認、同監査報告、五十九年度事業計画と同予算案が審議、承認された。



新年度事業では、七月、八月に啓蒙宣伝活動、昼間巡回指導、夜間巡回指導、七月二十八日に第四回町民総決起大会、九月に小中高生徒指導連絡会、学力対策懇話会を行う。

また、十二月と来年三月に夜間巡回指導、来年二月に小中高生徒指導連絡会を計画し、青少年の非行を未然に防止するとともに環境浄化のため地域住民の意識高揚を図っていくことにしている。

子供の水の事故

八月は交通事故より怖い

警察庁の調べによると昨年八月に水死した（中学生以下）の数は一六四人であり、同じ月に交通事故で亡くなった子供の数（一〇三人）の約一・六倍です。

こうした子供の水難事故の六割は、保護者がそばにいないときに起こっています。

交通事故の防止とともに、特に夏の間は子供の水の事故に十分注意しましょう。

保護者の方へ

大切な子供を、親の不注意で水の事故に遭わせたくない。次のような点に注意しましょう。

▼子供たちだけで水泳や水遊び

巡回行政相談

八件の相談を受ける

六月二十六日、町役場で巡回行政相談が行われ、五人の方々から八件の相談が寄せられた。相談には、山畑清光行政相談員などが当たった。

町民から寄せられた相談内容は、大きく分類すると「道路排水に関する相談」三件、「離婚問題」一件、「農地の売買に関する問題」一件、「悪臭公害の問題」一件であった。

これらの相談は、即座に返事できるものについては相談員が回答し、町行政に対する要望等については担当課が事情を聴き、調査検討の上、後日、本人に答えていくという形で行われた。

今後とも、国、県、町の仕事についての苦情、相談のある方は、お気軽に山畑清光行政相談員（電話五五一四一）にお尋ね下さい。

夏だ きたえよう 心とからだ
夜遊びは「しない」「させない」「見逃さない」

あつぱれ西原^男、西原東^女子 小学生バレー「沖縄」に

第四回ライオンカップ全日本バレーボール(六人制)大会県大会(主催・日本バレーボール協会、日本小学生バレーボール連盟など)が七月八日午前九時から沖縄市宮体育館で開かれ、男子は西原クラブが、女子は西原東クラブがそれぞれ優勝し、沖縄一に輝いた。男子は圧倒的な強さで三年ぶり二度目の優勝、女子は初優勝である。

西原、西原東の両チームは東京・駒沢体育館で八月十四日に開催される全国大会に県代表として出場することになったが、その活躍が大いに期待されている。

なお、決勝戦の結果は次の通り。

【男子】	
西原 2	15 13
15 16	0 宮城
【女子】	
西原東 2	15 13
15 16	0 西原



圧倒的な強さで優勝した西原小バレーボールクラブ男子レギュラー



初優勝した西原東小バレーボールクラブ女子レギュラー

一区が優勝

老人輪投げ大会

老人の親睦と健康増進を図ろうと町老人クラブ連合会(呉屋幸夫会長)主催の第十回輪投げ大会が、六月二十九日午前九時半から中央公民館

で行われ、一区が団体優勝に輝いた。また、個人の部で仲宗根ヨシさん(一区)が初優勝を飾った。二十二チーム、一七六人の参加があった。

試合は、直径十六センチのビニール製の輪を五メートル離れたところから鉄製の九本のくいに入るゲームで入った輪の個数で得点を競うもの。各選手とも真剣なまなざしで一投一投くいめがけて投げ、気分転換にもなり有意義



沖縄コクヨが初優勝
職場対抗ボウリング大会
各事業所間の親睦と会員の健康増進を図ろうと町商工会(城間三郎会長、呉屋政富

優勝した一区チーム



で楽しい大会となった。

▼団体
優勝 一区・二四八点
二位 四区A 二四一点
三位 十区A 二三六分

▼個人
優勝・仲宗根ヨシ(一区)41点

十一区が優勝

区対抗野球大会

町体協(平安恒政会長)主催の区対抗野球大会が、六月十七日と二十四日の両日、西原高校、西原中学校、沖縄大学の三グラウンドで行われ、十五チームの参加があり大変賑わった。

熱戦が展開されたが、その結果は、決勝戦で十一区が一区を5-2で下し優勝した。

男子十区、女子六区が優勝
区対抗籠球大会

町体協(平安恒政会長)主催の区対抗バスケットボール大会が、七月一日午前十時から

六区が優勝

区対抗卓球大会

町体協(平安恒政会長)主催の各区対抗卓球大会が、七月一日午前九時から西原中体育館で七チームが参加して開かれた。試合は、リーグ戦で行われ、その結果、優勝・六区、二位・十五区、三位・七区の順となった。

男子十区、女子六区が優勝
区対抗バレーボール大会

町体協(平安恒政会長)主催の区対抗バレーボール大会が、七月八日午前十時から西原中と西原東小の両体育館で行われ、男子は十区が、女子は六区が優勝した。男子八チーム、女子四チームが出場。

なお、決勝戦の結果は次の通り。

【男子】	
十区	2-0 六区
【女子】	
六区	2-1 五区



寄付御礼

六月二日、字我謝六九五番地の小川正元さん(前教育長)から「人材を育成するために役立てて下さい」と町育英会に十萬円の寄付がありました。この紙面をかりて小川さんの御厚意に感謝申し上げます。

雇用保険加入でむすぶ 労使のきずな

事業を営み一人でも従業員を雇用した場合は雇用保険に加入しなければなりません。早目に加入手続きをしましょう。お知らせします。

那覇公共職業安定所
電話(0988-67-6472)

寄付御礼

七月十日、字与那城五六番地の勝工業の従業員(十六名)から会社創立十五周年記念に一年前からポリ容器の生ビール樽にためていたお金十萬五三八六円を町社協に「社会福祉のために役立てて下さい」と寄付がありました。

この紙面をかりて同社従業員の皆様方の御厚意に感謝いたします。

香典返し

七月三日、字呉屋九一番地の下地郁子さんから町社協に故夫・玄雅さんの香典返しとして三十萬円の寄付がありました。

この紙面をかりて下地さんの御厚意に感謝いたします。